



手指衛生について…「知っている」? 「している」?

●手指衛生の目的(必要性)

自身が感染症に罹患するリスク、また病原体の媒介者となる可性があり、手指から病原体を取り除くことで、院内・施設内での伝播を予防し、患者や利用者、自身を病原体から守ること。

●手指衛生の方法・ポイント

- ・手洗い剤と流水による手洗い手順
- ・アルコール手指消毒剤による手指消毒手順
- ・手指消毒 1 回あたりの使用量や擦り込み時間
- ・手洗いが不十分になりやすい場所



●手指衛生の 5 つのタイミング

- ① 患者に触れる前(手指を介して伝播する病原微生物から患者を守るため)
- ② 清潔 / 無菌操作の前(患者の体内に微生物が侵入することを防ぐため)
- ③ 体液に曝露された可能性のある場合(患者の病原微生物から医療従事者を守るため)
- ④ 患者に触れた後(患者の病原微生物から医療従事者と医療環境を守るため)
- ⑤ 患者周辺の環境や物品に触れた後(患者の病原微生物から医療従事者と医療環境を守るため)

など、手指衛生については皆さんご存知のことかと思えます。しかし、手指衛生について知っているだけでは感染の拡大を防ぐことも、自分の身を守ることもできません。感染防止(対策)マニュアルもあるだけでは意味をなしません。

「知っている」「やればできる」ではなく、日頃から「実践している」「活用している」の「**している**」に変えて、新型コロナウイルスはじめ様々な感染症の予防に努めていきましょう。